

『作業に焦点をあてた作業療法実践自己効力感尺度の開発』に関する研究への参加のお願い

私たちは、地域包括ケアシステムの職種協働支援の中で、作業療法士が人々の健康に貢献していくために、作業に焦点をあてた OT 実践(Occupation Focused Practice ; 以下, OFP)に対する自己効力感を高め、OT の職業的アイデンティティを発達させていくための一助となるよう「作業に焦点をあてた作業療法実践自己効力感尺度(Self-Efficacy Scale of Occupation focused Practice ; 以下, SES-OFP)」の開発を進めております。

この度、私たちが開発した自己効力感尺度の探索的因子分析と構成概念妥当性の検討を目的としております。私たちが開発した「作業に焦点をあてた作業療法実践自己効力感尺度(Self-Efficacy Scale of Occupation focused Practice ; 以下, SES-OFP)」への回答のご協力をお願い致します。今回の調査は Google Form を用いて実施しております。以下の倫理的手続きについてもご一読頂き、ご協力のほどよろしくお願い致します。

■ 倫理的手続き

- ① 本研究は完全無記名にて実施しますので個人が特定されることはありませんので、プライバシーは完全に守られます(メールアドレス収集の機能も OFF にしております)。
- ② 本研究への協力は任意であり、協力しなかったことにより不利益が生じることはございません。
- ③ 本尺度へのご回答をもって研究協力を同意いただいたと判断させていただきます。一度提出いただいたデータは削除することができないことをご了承ください。回答いただいたデータは必要な回答数が得られた時点で、本 web 上から全て削除することをお約束します。
- ④ 得られたデータは本研究のみ使用し、研究成果を作業療法関連の学会や雑誌に発表させていただきます。

■ 調査対象者：作業療法士養成施設(専門学校および大学)を卒業した作業療法士、および各養成校の正規の臨床実習を修了した最終学年次の学生で、20代~50代の方

※正規の臨床実習の修了：少なくとも 1 例は実際に作業療法の評価~成果判定までの経過を経験できていること(症例基盤型、診療参加型のいずれでも可)

以上のことをご理解いただき、本研究へのご協力をお願いします。なお、本研究は九州栄養福祉大学研究倫理審査委員会承認を得て実施しております。

2021年2月
以上

研究代表者：青山 克実(九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法科 准教授)
800-0298 北九州市小倉南区葛原高松 1 - 5 - 1
問い合わせ先：aoyama@knwu.ac.jp

協同研究者：石橋 裕(東京都立大学大学院 人間健康科学研究科 准教授)
山田 孝(東京保健医療専門職大学 リハビリテーション学部 作業療法科 教授)
安部剛敏(専門学校麻生リハビリテーション大学校作業療法学科)
老川良輔(専門学校麻生リハビリテーション大学校作業療法学科)